

平成13年8月23日

各位

株式会社 大和銀行

ニュービジネス企業向け投資ファンドの設立について

大和銀行（頭取 勝田 泰久）は、バイオ、ナノテク、IT等の分野を中心とした将来高い成長性が期待できるニュービジネス企業（新産業型企業）の資金需要に積極的にお応えする投資ファンド、「ダイワベンチャーファンド50」を設立いたします。

このファンドは、投資対象企業（約150～250社）が発行する株式・転換社債・新株引受権付社債などに投資し、企業の幅広い資金ニーズにお応えすることを目的とするものです。

当行は、ベンチャー企業、中堅・中小企業の成長ステージおよびビジネスモデルに応じた総合的な金融サービスの提供を積極的に行ってまいります。

新投資ファンドの概要は以下のとおりです。

「ダイワベンチャーファンド50」

ファンド総額	5,000百万円
ファンド形態	投資事業有限責任組合
設立時期	平成13年9月3日
満期	平成21年8月末日
無限責任組合員	大和銀企業投資株式会社
有限責任組合員	株式会社大和銀行
投資金額	1社あたり20～40百万円程度
投資の対象	投資対象会社の発行する株式・転換社債・新株引受権付社債 ならびにこれらに類する証券

以上

《ご参考》

当行のベンチャー企業、中堅・中小企業支援の取組について

当行は、間接金融面においては当行独自の「中堅・中小企業向け特別ファンド」や信用保証協会保証付貸出、「FORECS」「VEC」等の融資制度などを活用し、また直接金融面では本ファンドなどを通じた投資やナスダック・ジャパン株式会社と共同で上場支援勉強会を開催するなど支援チャンネルの充実に努め、間接金融・直接金融の両面から企業の成長ステージおよびビジネスモデルに応じた総合的な金融サービスの提供を積極的に行ってまいります。

1. 制度融資（間接金融）を活用したベンチャー支援

FORECS、VEC、IPAの債務保証制度の活用

< FORECSベンチャービジネス融資支援制度 >

- ・（財）大阪産業振興機構の債務保証により、新技術・新製品の研究開発成果の事業化などの資金調達の支援を目的とした制度
- ・第1期に引き続き第2期（本年9月より開始予定）の当該事業にも指定金融機関として、近畿大阪銀行とともに参加予定

（第2期第1回指定金融機関：当行、近畿大阪銀行、信金中央金庫、府内各信用金庫）

< VEC >

- ・（財）研究開発型企業育成センターの債務保証により、中小企業者の新製品・新技術等の研究開発資金の支援を目的とした制度
- ・当行利用残高は、平成13年3月末現在取扱金融機関の中でトップ

< IPA >

- ・情報処理振興事業協会の債務保証により、プログラムの開発や情報処理技術者の教育・研修のための資金を支援する制度

2. ナスダックジャパン株式会社との共催による上場支援勉強会の開催

今秋ジャスダックとの共催による勉強会も検討中

第3回ナスダックジャパン株式会社との共催による上場支援勉強会（大阪では2回目）

日時：平成13年8月24日（金） 14：00～17：00

講師：株式会社くらコーポレーション 代表取締役 田中 邦彦 氏

ナスダック・ジャパン株式会社 営業企画・推進担当部長 黒田 喜久 氏

新日本監査法人 公開業務部 主査公認会計士 笹山 直孝 氏

以 上